

# 市報 やまぐち

2004 12/1 NO.1377

DECEMBER  
Communication Paper Yamaguchi

## CONTENTS 主な内容

12月3日～9日は障がい者週間  
誰もが安心して暮らせる快適で住みよいまちへ

「山口市健康づくり計画」中間案

**お知らせ**  
山口情報芸術センター1周年記念シンポジウム  
「21世紀の地域と文化」



スーパー卓球フェスタ（11月21日）  
プロからの直接指導を受ける高校生。  
写真左はアテネ五輪で活躍された梅村礼選手

12月3日～9日は障がい者週間

# だれもが安心して暮らせる 快適で住みよいまちに



みなさんは「ユニバーサルデザイン」という言葉をご存じですか。子どもから大人まで、高齢者や障がいのある人、妊婦など、誰にとっても使いやすい、やさしくデザインされたものことです。

日用品などでは、こうした物を多く見かけるようになりましたが、私たちの暮らしやすさも、誰にとっても暮らしやすい、快適なまちにすることは大きな課題です。

12月3日～9日の障がい者週間にちなみ、今回は、「まちのユニバーサルデザイン」に着目し、誰にとっても暮らしやすい、快適なまち（ユニバーサルなまち）とはどのようなものなのか、一緒に考えてみたいと思います。

## まちの快適な住環境をコーディネート

### 1級福祉住環境コーディネーター

みやたみえこ  
宮竹美絵子さん

宮竹さんは、現在フリーで活動し、いろいろな視点でユニバーサルデザインのアドバイスをしたり、多目的トイレの設計をしたり、講演活動もしています。また、県が平成16年に改訂した山口県福祉のまちづくり条例の設計マニユアル改訂委員会の委員の一人として参加しました。暮らしやすい快適な居住空間とはどういったものなのでしょう。



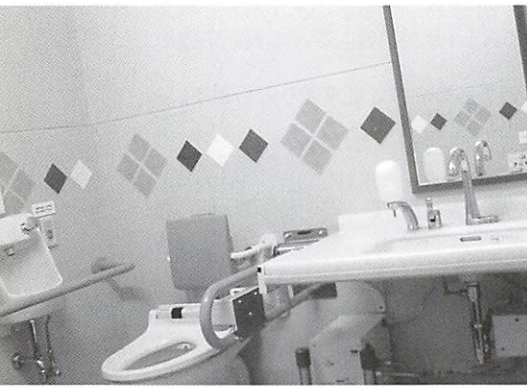
### ●ユニバーサルデザインの現状

九州でOLをしていた頃、インテリアコーディネーターとして仕事がしたいと思うようになり、インテリアコーディネーターとカラーコーディネーターの資格を取得後、帰郷して建築設計事務所に就

職しました。建物に対してさらに興味があって、いろいろな視点で建築物を見るようになりましたが、その頃から、不特定多数の人が利用する建物であっても、まだ本当に使いやすいものや快適性などが重要視されておらず、ユニバーサルデザインといっても実際には使づらい建物がまちにはたくさんあることに気づきました。

### ●工夫次第で使いやすいものに

これからできる公共の施設や大規模の建物がユニバーサルデザイ



宮竹さんがデザインした多目的トイレ。あたたかさ楽しさをだすため、明るい壁色(黄色)にタイルでデザイン。また空間を上手に使った機能的な設計となっています。(山口県身体障害者福祉センター内 八幡馬場)

ンに対応していても、スーパーやコンビニ、飲食店といった身近な店舗や、すでに建っている建物が誰にでも使えるようにならないと、本当の意味でのユニバーサルデザインとは言えないと思うので、今建っている建物も見直していけるというなど思っています。ユニバーサルデザインというと、とても大掛かりなイメージがありますが、決して大改修ではなくても、工夫次第で使いやすくできる方法があることを知ってほしいし、そういう提案がしていけるといいなと思います。

●デザイン性や心地よさも大事

もう一つ重要なのが、デザイン性と心地よさです。一般用のトイレなどはとてもおしゃれできれいなところでも、障がい者用となると単に広く、設備はごつつくて、

内装も寒々しいというものが多かったんですね。これからは、だれもが使用したいと思えるようなもので、決して特殊でないものを増やしていきたいと思っています。

それが一般化することでコストも下がり、種類も増えると思います。誰もが使えて快適なものが増

障がい者とボランティアの関わりを写真で伝えたい

山口県身体障害者福祉センター 百田達成さん



百田さんは、「障がい者とボランティアが共に生きている姿を伝えたい」と、カメラのフラインダーを通してスポーツやレクリエーション活動にボランティアとして参加しています。自身の活動などについて聞いてみました。

●ボランティアと障がい者を結び活動をしたい

ハンディのある人、ない人が一緒にになってレクリエーションやスポーツを楽しめる場のお手伝いができるかと思って、以前からボラ

えることで、今まで出られなかった方も外出できるかもしれない。そうしなければもちもって活性化するし…って考えるとワクワクしますよね。

そんなユニバーサルなまちづくりを考えていければなって思っています。

障がい者自身の目で見た情報は大切

百田さんは、「障がい者とボランティアが共に生きている姿を伝えたい」と、カメラのフラインダーを通してスポーツやレクリエーション活動にボランティアとして参加しています。自身の活動などについて聞いてみました。

●障がい者自身の目で見た情報は大切

自身の活動はホームページでも紹介していますが、障がい者だけでなくいろんな人との交流を通して社会の広がりが出て来ようと思います。

また、私のような車いすの人間にとっては、旅先での宿泊施設や

まちの設備などの情報がとても気になりますから、インターネットで検索したり情報の交換はとても役に立っていますね。

でも、十分下調べをしても、使ってみると実は使いにくい施設が結構あります。障がい者自身の目で見た情報はとても重要だと思いますね。

ですから、旅先ではトイレなどの施設の写真を撮るようにしていて、いずれは福祉マップみたいなものを作ってみたいと思っています。障がい者の皆さんにとってはとても助かる情報源になると思います。

トイレの話になって申し訳ないのですが、私たちにとって外出先のトイレはとても重要。先日、あわてて近くのスーパーに入ったら障がい者用のトイレがなくて…。若い方が快くお手伝いしてくれましたが、お願いする方も手伝う方もちょっと気が引けますよね。できれば、無理なく負担のない範囲でできることは自分だと思いますね。

●人のこころはみんな一緒だよって伝えたい

小中学校の学習で自分の体験談を話したりする機会もありますが、



附属小の生徒たちとの体験学習をする百田さん

**「障がいのある人」に表記を改めています。**

「障害者」の「害」の漢字には、否定的な意味もあり、不快感を感じることがあると考えられます。そのため、市報「やまぐち」では、「障がいのある人」「障がい者」などの表記に改めています。

なお、法令やこれに基づく機構、施設、計画、事業などの固有名前は従来通りとします。

問い合わせ 広報広聴課 ☎934-2753 ㊟934-2643

感受性の強い子どもたちにはいろんな人と触れて、押しつけではない何かを感じ取ってほしいですね。こういった学習の際には、何が出来て、何が出来ないというように、違いが何かを教えることも大切ですが、私は「人の心はみんな一緒だよ」ということを伝えたいと思っています。

先日、附属小の授業ではおもしろい体験学習に参加しました。「障がいのある家族の方が学校にスムーズに入れるような改善点を探してみよう」という内容でした。

子どもたちは私と一緒に学校の中を見回り、改善点がないかをみんな考えてみました。考えるというのは必要だし、また同じ目線で体験することはとてもいい学習だと思いましたね。

みんなが同じ視点に立つことで、まちはみんなにとって使いやすい快適なものになると思います。

**● ボランティアで得られたこと**

みなさんは障がい者に関わるボランティア活動の中で、学校の授業だけでは得られない多くのことを学んでいるほか、独自にいろいろ企画も実施しています。昨年5月には車椅子の高さ100センチメートルの目線でまちを歩く「目線100プロジェクト」を行いました。



三上千紘さん(左上) 安藤祐賀子さん(右上) 小林千春子さん(左下) 御領園育子さん(右下)

これまでは自分の目の前のことだけで生活していたけれど、いろんな人、価値観、生活があつて、障がい者にもそれぞれに困り事があることに気づきました。車椅子の方とのバスツアーや高齢者疑似体験なども企画しましたが、やっぱり自分たちが経験したから分かることは多いですね。

もう一つは、人や情報のネット

多くの人に関心を持ってもらって、ユニバーサルなまちへ  
 県立大学社会福祉学科のみなさん

ワークが広がったこと。学校の授業だけではない、実体験の中で、今まで聞き流していたような情報も、結びつけて考えられるようになったと思います。

**● 障がいのあるなしに関係なく、みんな同じ**

以前、車椅子の方と商店街で買い物する企画があつたんですが、何の気なしに車椅子を押して、そのままレジに行き、私がお金を払ったんです。そうしたら後で、「僕はしゃべれるし、手も動くし、お金が払えたんだよ」と言われました。何でもしてあげないといけないと思ひこんでいた自分に気づきました。障がいのあるなしに関係なく、みんな同じなんですよね。

**● ユニバーサルなまちのきっかけになれば**

今度は車椅子の方と電車に乗って楽しい旅ができたらって、次の企画を構想中なんですけれど、自分たちの活動をいろんな人に呼びかけて、知ってもらって、みんなが考えるきっかけになればと思っています。



昨年5月に開催した「目線100プロジェクト」

一部の人が考えるのではなく、多くの人に関わってもらいたい、それが当たり前になるようになってしまえば、ユニバーサルなまちへのきっかけとなるのではと思いますね。

今回、みなさんにいろいろなお話を聞いた中で、共通するのは、「障がいのあるなしにかかわらず、同じ目線になって考える」ことの大切さだったように感じます。また、障がいのある人との関わりや体験の中で得られるものも大きいと感じました。

みんなにとって快適なまちとは、誰かのために特別につくられるものではありません。私たちの日常生活の視点をちよっとだけ変えて、誰もが暮らしやすいまちについて、みなさんで考えてみましょう。

# 2004年

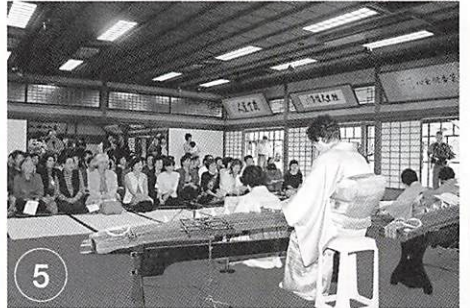
# 山口市の主な出来事



## 山口県央部1市4町合併協議会



- ① 中原中也記念館リニューアル (2月22日)
- ② 子育て支援交流広場「ちゃ☆ちゃ☆ちゃ」開設 (5月11日)
- ③ 各地で台風18号による被害が発生 (9月7日)
- ④ 第1回県央部1市4町合併協議会 (9月11日)
- ⑤ 山口市菜香亭開館 (10月2日)



## 1月

■阿東町で高病原性鳥インフルエンザが発生。鶏卵を中部環境施設組合清掃工場へ搬入、焼却 (12・15日)  
■山口市交通まちづくり調査研究委員会報告書を提出 (28日)

## 2月

■市議会ホームページ開設 (1日) ■第9回中原中也賞が埼玉県在住の久谷雉さんの「昼も夜も」に決定 (21日) ■中原中也記念館リニューアルオープン (22日) ■吉敷地区セーフティネットワーク情報発信モデル事業開始 (23日)

## 3月

■メールマガジンの発刊、携帯電話用ホームページの開設 (4日) ■JR山口線初の快速「やまぐちライナー」運行開始 (13日) ■山口市地域福祉計画策定 (22日) ■白石小学校新校舎完成祝賀会 (23日) ■小鯖小学校屋内運動場竣工式 (27日) ■第四次山口市行政改革大綱策定 (30日) ■高田公園に湯田温泉5カ所目の足湯完成 (31日)

## 4月

■にぎわいのある都市核づくり構想策定 ■山口市在宅緩和ケア推進事業開始 (1日) ■中原中也直筆原稿寄贈 (3日) ■「山口十境の詩」碑除幕式 (3日) ■山口県央部2市4町合併協議会休止 (26日)

## 5月

■第1回山口市健康づくり計画策定委員会 (7日) ■子育て支援交流広場「ちゃ☆ちゃ☆ちゃ」オープン (11日) ■大内文化まちづくりサポーター提言書提出 (26日) ■第1回山口市次世代育成支援対策協議会 (27日)

## 6月

■もの忘れホットライン (痴呆予防電話相談) 開設 (1日) ■山口ケーブルテレビ12チャンネルで防災情報

提供を開始 (1日) ■第21回国民文化祭山口市実行委員会設立総会 (2日) ■合併住民説明会 (2~5日) ■第1回山口県央部1市3町合併調査研究会 (9日) ■第1回山口市立小学校及び中学校通学区域審議会 (21日)

## 7月

■伊藤ハム (株) 鑄銭司団地進出協定調印式 (22日) ■第1回山口市住居表示審議会 (28日) ■第1回山口県央部1市3町合併協議会 (29日) ■十朋亭一時公開 (31日~12月27日)

## 8月

■徳地町が1市3町合併協議への参加を正式申し入れ (3日) ■山口県央部1市4町合併協議会設立 (23日)

## 9月

■川西地区土地改良区合併予備契約調印式 (1日) ■各地で台風18号による被害が発生 (7日) ■第1回山口県央部1市4町合併協議会 (11日) ■中原中也記念館来館者40万人達成 (17日) ■市立図書館貸出冊数100万冊達成 (17日) ■市民まちづくり会議「食と健康について」提言書を提出 (21日)

## 10月

■山口市在宅緩和ケア支援センター開設 (1日) ■山口市コミュニティバス実証運行を継続。運賃を200円に改定。福祉優待バス乗車制度を改定 (1日) ■山口市菜香亭開館 (2日) ■第1回「まち=大学」全国サミット (2・3日) ■福祉総合相談窓口開設 (4日) ■まちづくりリレーミーティング/対話 (7日~11月12日) ■二島東・宮之目地区農業集落排水処理場通水式 (8日) ■熊の異常出没相次ぐ。吉敷畑で熊一頭捕殺 (15日) ■家庭教育訪問支援を開始 (18日)

## 11月

■第1回山口情報芸術センター台風被災調査委員会 (8日) ■山口県央部1市4町合併調印式 (25日)

# 「山口市健康づくり計画」中間案

「ご意見をお聞かせください」

市では、乳幼児から高齢者まで一貫した健康づくりを目指した、「山口市健康づくり計画」の策定作業を進めています。今年6月には、市民のみなさんの健康についての現状や市が行う健康づくり事業に対する意見を伺うために、3000人を対象に調査を行い、1319通の回答をいただきました。この度、その結果を踏まえた「山口市健康づくり計画」中間案を作成しましたので、その概要をお知らせします。

## 基本方針

健康づくりは、市民一人ひとりが『自分の健康は自分でつくる』という自主的な取り組みが基本となります。しかし、個人の努力だけでは限界があることから、今後健康に関する適切な情報提供や、健康づくりを推進する環境整備まで含めた支援によって、個人が健康づくりに取り組みやすい社会をつくることが重要となります。

そのために、市では、市民のみなさんと一緒に計画を策定し、みんなで健康づくりをしていくことを目指しています。

## 重点施策

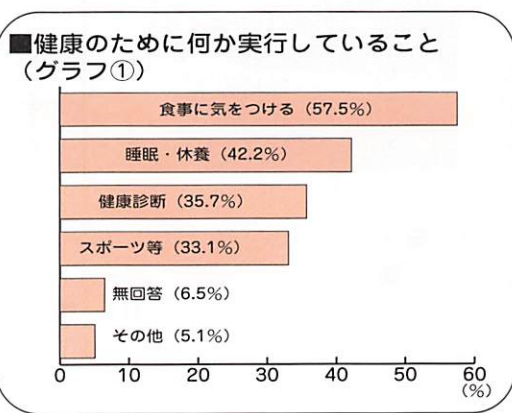
### 「食からの健康づくり」

今回の計画では、すべての人の生活に密着し、健康と深く関わっている食生活に焦点をあて、「いつ

までもおいしく食べたい」という

願いを達成するために、今後取り組んでいくことについて、市民の方の参画をいただいている計画策定委員会で話し合っています。

アンケート結果においても、市民のみなさんが健康のために実行していることの中で「食事に気をつける」が57・5パーセントと最



も多く、食への関心の高さが分かります (グラフ①)。

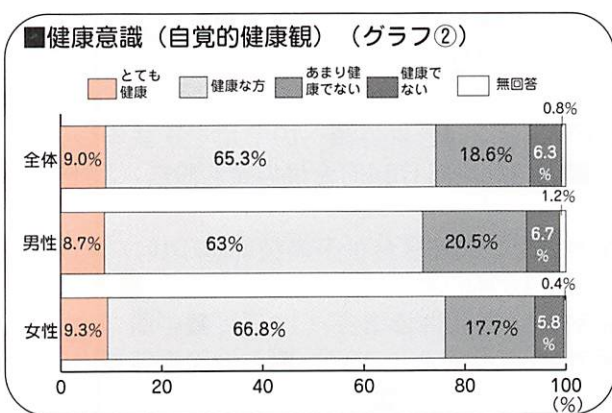
策定委員会では、今回の調査結果も踏まえ、今後5年間で重点的に取り組んでいく3つの目標を決定しました。

## 重点施策目標

①心と体の調子を良くするため  
に、自分の身体を知ろう

アンケート結果では、「とても健康」「健康な方」と、健康であると思うと答えた方は、73・5パーセントでした (グラフ②)。

体の調子が悪かったり、心が疲れている状態では、おいしく食べることができません。おいしく食べるためには、まず、自分の体に興味を持ち、知ることが必要です。



そのために、次のことに取り組みます。

- ・自分が健康であると思える人が増える
- ・地域でのウォーキング事業に参加する人が増える

②食べる力をつけるために、家庭の味・素材の味を大切にす

家庭の味、素材の味を大切にするためには、子どもの頃から、食材本来の味を生かし、うす味にして味覚を豊かに育てていくことが重要です (グラフ③④)。

そのために、次のことに取り組みます。

- ・親子(誰かと)一緒に食材の買物をする人や料理をする人の割合が増える
- ・いろいろな料理教室への参加者が増える
- ・うす味に気をつけている人が増える



策定委員会の様子

「健康づくり計画中間案」は、市ホームページに掲載しています。

[http://www.city.yamaguchi.yamaguchi.jp/kenko/kurashi/k\\_home.htm](http://www.city.yamaguchi.yamaguchi.jp/kenko/kurashi/k_home.htm)

③食に関する情報をわかりやすく楽しく提供しよう  
食に関する情報は、テレビやラジオ等を通して発信されています。しかし、情報過多である反面、情報が欲しい市民の所へなかなか届いていない状況です。「食と健康」に関する情報が、市民のみなさんにとって分かりやすく、健康に関心の低い人にも身近なものとなるような工夫を検討していく必要があります。そのため、次のことに取り組めます。

・食について考える日として、「おいしく食べる日」を設定し、その日を知っている人が増える  
・食に関して、興味・関心を持つ人が増える  
**生涯を通じた健康づくり施策の推進**

■施策目標

①母子保健

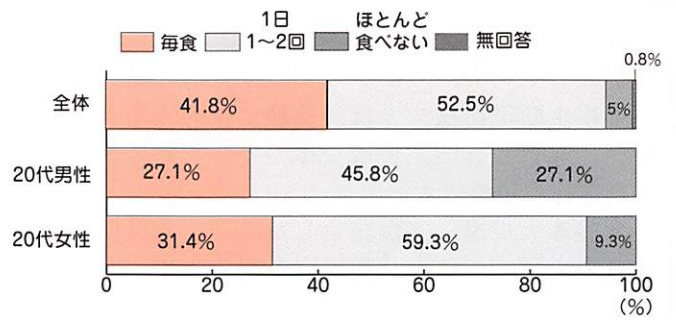
- ・喫煙している妊婦を減らす
- ・若年妊娠、婚外妊娠、情緒不安定な妊婦が安全な妊娠期間を過ごせるようにする
- ・育児不安等の軽減を図り、虐待を防止する

③歯科保健

- ・乳幼児期における虫歯予防に関心を持つ人を増やす
- ・歯によい保健行動ができる人を増やす
- ・成人、高齢期における歯の健康に関心を持つ人を増やす

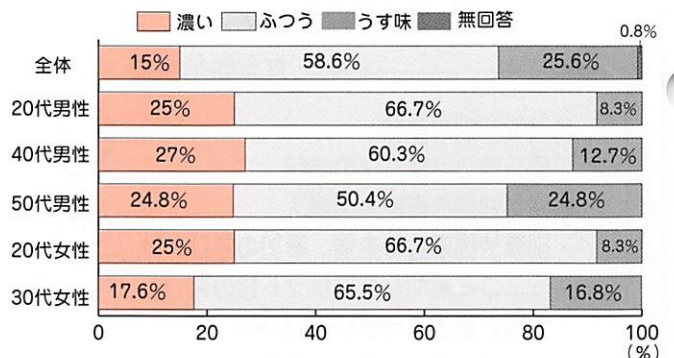
◆問い合わせ 市保健センター  
(☎921-2666)

■野菜料理を食べていますか？(グラフ③)



※全体的に野菜を毎食食べる方は、約4割と少なめです。特に、20代男女は「毎食食べる」割合が低く、「ほとんど食べない」割合が高くなっています。

■味付けはどうか？(グラフ④)



※塩味が「濃い」と回答した方が全体では15パーセントですが、20・40・50代男性と20・30代女性は全体の割合を上回っています。

・母親が身近な相談相手を見つけ、安心して育児できるようにする  
・父親が子育てに対して理解・協力し、母親が安心して育児できるようにする  
・母親・父性を育て、健やかに思春期が送れるようにする  
・健康づくりに関心を持つ人を増やす  
・適正な食生活を実践している人を増やす  
・運動している人を増やす  
・喫煙者を減らす  
・糖尿病予備軍を減らす  
・転倒骨折予防・痴呆予防について知識を持つ人や実践している人を増やす  
・痴呆症を早期に発見し、早期に対応できる人を増やす

ご意見をお聞かせください

今後重点的に取り組む3つの目標ごとの行動計画(市民・地域・行政の具体的な取り組み)に、平成12年3月策定した「山口市保健計画」の見直しを合わせて「健康づくり計画中間案」を作成しました。この中間案をもとに、今後計画の策定を進めます。なお、中間案は、市ホームページ(上記)のほか、大蔵、白石、湯田の各公民館、各出張所、市政情報コーナー(市役所1階)及び市保健センターで閲覧できます。

より多くの市民のみなさんの意見を計画に反映したいと考えていますので、ぜひ山口市健康づくり計画に関してのご意見、ご感想等を12月28日(火)までにお寄せください。



# 体制づくりのために――

## ■地域での取り組み～自主防災組織～

「自主防災組織」とは、地域に住むみなさんがお互いに協力し合い、地域全体の安全を守る地域防災活動を行う組織です。

地震等大規模災害が発生した場合、防災関係機関は全力を挙げて防災活動に取り組みます。しかし発生する多種多様な災害に関係機関のみの活動では、十分に対処できないことが考えられます。

そこで、各家庭での日頃の備えや心構えに加えて、地域ぐるみの防災活動が重要な役割を果たします。

### 日常の防災活動の進め方（例）

#### 自主防災組織

##### ●防災体制の整備

・緊急時の連絡方法の確認

##### ●防災知識の習得・啓発

- ・訓練や講演会の主催・参加の呼びかけ
- ・ミニコミ紙やパンフレット類の発行
- ・地域災害史や体験談の掘り起こし
- ・防災カルテや防災地図の作成
- ・防災啓発用ビデオや防災記録ビデオの作成

##### ●危険箇所の見回り・点検

・がけ地、河川、海岸など

##### ●資機材の整備

・パケツ・消火器・メガホン・ヘルメット・懐中電灯等の共同購入

##### ●防災訓練

・訓練を通じて、地域での課題を改めて確認しましょう。  
消火訓練、避難訓練、給食・給水訓練、救出・救護医療・防疫訓練、情報の収集伝達訓練



## ■自主防災組織はこうしてつこう

具体的な進め方の例としては、以下のようなものがあります。

- ①災害や地域について学び、防災活動の必要性を確認する。
- ②自治（町内）会等の会合で、災害時の対応などについて話し合う。
- ③ミニコミ紙の発行などを通じ、防災活動の輪を地域内に広げていく。

#### 市役所

##### ●防災意識の啓発

・防災意識の高揚を図るため、自主防災組織が開催する研修会・講習会で、防災の必要性や資機材の操作方法、応急手当法等について指導援助します。



## ■災害時要援護者のための対策

災害時要援護者とは、乳幼児や高齢者、障がい者、傷病者、外国人などの中でも、災害の危険の察知や救助の要請、災害情報の理解、災害への対処について、何らかの援助を必要とする方をいいます。

災害時要援護者のために自主防災組織が取り組める対策には、以下の例があります。

### ①災害時要援護者の把握

地域内で災害時に援助を必要とする人は、どこにいるのかを把握する。

### ②地域内のバックアップ体制を整える

一人の災害時要援護者に対して、複数の住民による避難援助体制を組み、地域での役割分担を確認する。



避難場所、災害危険箇所、災害別の対策を市ホームページ上で公開しています。

●市総務課危機管理担当

☎934-2723 FAX 922-2198

[http://www.city.yamaguchi.](http://www.city.yamaguchi.yamaguchi.jp/somu/kurashi/staisaku.htm)

[yamaguchi.jp/somu/kurashi/staisaku.htm](http://www.city.yamaguchi.yamaguchi.jp/somu/kurashi/staisaku.htm)





# 防災—地域で守る

## ■毎年各地で発生する深刻な自然災害

今年、日本に上陸した台風は、観測史上最多の10個を記録し、山口を含む全国各地に大きな被害をもたらしました。

また台風以外にも、記憶に新しい福島や新潟での集中豪雨、10月23日発生の新潟県中越地震など、今なお各地の住民が日常生活を取り戻すには、多くの時間と全国からの協力を必要としています。



台風による道路施設災害

## ■気象情報等の入手方法

自然災害が発生した際、常に課題となるのが、気象警報、避難勧告等の情報の伝達・入手方法です。市では、その時点で可能なあらゆる方法により伝達することとしていますが、停電等によりライフラインが断たれた場合、最終的に機能するのは、ラジオ(携帯用)です。常に身近に備えましょう。

### 気象情報等の入手方法

気象情報・注意報・警報
テレビ・ラジオ
下関地方気象台(177)
※1 気象庁ホームページ
※2 山口県土木防災情報システム
※3 山口ケーブルテレビ12チャンネル

※1 <http://www.jma.go.jp/>  
※2 <http://y-bousai.pref.yamaguchi.jp/>

### 避難指示・勧告の伝達手段

避難指示・勧告
テレビ・ラジオ
広報車・消防車
自治(町内)会
サイレン、個別訪問
※3 山口ケーブルテレビ12チャンネル

※3 気象警報発令時に防災情報をお知らせしています。

## ■家庭での取り組み

### 1 日常からの備え

日頃からの備えにより災害の危険度や避難直後の不自由さを減らすことはできます。災害から身を守るため以下のことを話し合い、準備しておきましょう。

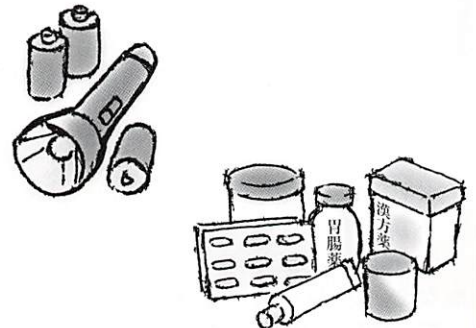


- ① 日常の防災の役割と災害が起きた時の役割の両方を決めておく(消火器係、ブレイカーを切る係など)。
- ② 家族が離ればなれになった時の連絡方法や避難場所を確認、下見をしておく(平成15年7月全戸配布済※「山口市樫野川水系洪水ハザードマップ」参照)。※各出張所、市役所受付、市総務課に備えています。
- ③ 屋内外の危険箇所をチェックし、家具の安全な配置換えや転倒・落下、ガラスの飛散を防ぐ方法を考える。
- ④ 非常持出品の用意(下図参照)



非常持出品一覧(例)

一次持出品	避難するとき	非常食(かんぱん、缶詰、ミネラルウォーター等)
	まず最初に持ち出すべきもの	貴重品(公衆電話用に10円硬貨、預貯金通帳、印鑑等)
		携帯ラジオ(予備電池を多めに)
		懐中電灯(予備電池を多めに)
		救急医薬品(絆創膏、傷薬、包帯、風邪薬、鎮痛剤等)
二次持出品	災害復旧までの最低3日分	飲料(1人1日3リットルを目安に)
	生活用に準備しておくもの	食品(米、缶詰、レトルトのおかず、菓子類等)
		燃料(卓上コンロ、ガスボンベ、固形燃料等)
		その他(毛布・寝袋、洗面用具、鍋等)



### 2 直前の対策

台風や大雨は、気象情報等の収集により、今後の進路や雨量の予想ができます。台風の最接近時刻等を把握し、事前の対策を行い、被害を最小限に食い止めます。

- ① 台風情報を注意深く聞く。
- ② 停電時に備えて、懐中電灯や携帯ラジオの準備。
- ③ 避難に備えて、貴重品などの非常持出品の準備。
- ④ 断水などに備えて、飲料水の確保。
- ⑤ むやみに外出しない(この度の台風による負傷者の多くも、屋外で被害に遭っています)。
- ⑥ 土砂災害が起こりやすい地域では、降り始めから100ミリ以上の雨が続いたら注意が必要です。崖崩れなどの前兆が起きたら、早めに※自主避難するように心掛けましょう。

※自主避難…危険を避けるため、事前に知人宅やホテルなどの安全な場所を確保して身を寄せる方法のほか、市では、地区の公民館を中心に受け入れを行っています。なお、日常生活に介護等が必要な方については、事前に、各種制度の活用による短期入所サービスの利用をお勧めします(市報10月1日号16ページ参照)。

## 「まちづくりリレーミーティング／対話」を開催しました

合志市長就任後3回目となる「まちづくりリレーミーティング／対話」を、10月7日から11月12日まで、市内16地区において開催しました。

今回も昨年と同様、「県中部合併」と「パートナーシップのまちづくり」をテーマとして開催し、多くの方の参加がありました。

リレーミーティングでは、まず合志市長が、県中部合併に関して、1市4町（山口市・小郡町・秋穂町・阿知須町・徳地町）による合併協議に至る経緯や確認されている合併協定項目などの協議状況を説明した後、「新県都のまちづくり計画（案）」についての説明を行いました。その後、合併についての質疑応答を行い、下記のような質問のほか、さまざまな意見・提言が出されました。

また、もう一つのテーマである「パートナーシップによるまちづくり」においても、それぞれの地区が抱えている課題等について、さまざまな提言・要望がなされ、市民のみなさんと市長が共通の認識を深め、その解決に向けた対話を行いました。

## リレーミーティングでの合併に関する質問（一部抜粋）

### Q 合併後、現在の出張所はどのようになるのですか。

行政組織及び機構の取扱いに関する協定項目の調整方針のうち、「支所、出張所及び出先機関は、基本的に現行のまま存続させる」と確認されていますので、現状と変わることはありません。また、出張所、公民館は、地域コミュニティ形成の核となる施設であることから、今後とも充実を図っていくべき重要な施設であると考えています。

### Q 徳地町を含めた1市4町における10年後の財政見通しはどうですか。

1市4町が合併した場合の財政見通しは、合併しない場合よりも財源状況が改善されます。また、収支の改善額と投資的経費の増加を合わせると、約466億円の波及効果が期待できます。合併しない場合は、すべての積立金を取り崩しても財政運営が困難な状況ですが、合併した場合には、将来にわたって財政運営が持続可能となります。

### Q 山口の総合支所よりも他の総合支所の方が近くなるが。

証明交付や申請手続きなどの直接的なサービスの提供はどこの総合支所でも可能ですが、旧市町における地域振興機能、例えば道路などは旧市町単位の総合支所の対応となります。合併当初の円滑な移行を行うためにも、総合支所を旧市町単位の設置することとしておりますが、新市の一体性を図るためにも各総合支所の役割分担を早急に検討すべきと考えています。

### Q 市民は30万中核都市の実現を望んでいますが、その実現のためのプロセスをどのように考えていますか。

将来の県央中核都市建設を目指す第1段階の取り組みとして、ともに2市4町の合併実現に取り組んできた1市4町が一体となって、まずは合併特例法期限内の合併を実現させることが最重要課題と考えています。また、防府市との関係においては、広域行政事務に関する協議などあらゆる機会を通じて、県央中核都市実現に向けた議論を重ねることにより、県央30万中核都市実現の思いを実現のものとする努力を重ねていきます。

### Q なぜ10年後の新市の本庁舎を新山口駅周辺とするのですか。また、そのことで北部の都市整備に影響はないのですか。

新市においては総合支所方式を採用することとすることから、これまでどおりの住民サービスや地域振興機能は総合支所がその役割を担うこととなります。したがって、本庁はいわゆる行政管理機能を担いますので、住民サービスと直接関係するものは少ないと考えます。今後の本庁の役割を考えた場合、市内外との交流が重要となることから、交通の要衝地であり、さまざまなネットワークの結節点にある新山口駅周辺が将来の本庁の位置として選択されるものと考えます。

基本的にはそれぞれの市街地が形成された要因を尊重する合併を実現するという考えに立った場合、これまでどおり官公庁の集積する山口市北部地区が行政の主たる機能・役割を果たすと考えており、知的・文化的役割を担う中心地としての都市整備を図ることが必要だと考えています。

※なお、リレーミーティングの内容は、現在会議録として調製中です。終了次第、市ホームページ、大殿・白石・湯田公民館、各出張所、市政情報コーナー（市役所1階）で閲覧できるようになります。

◇問い合わせ 市企画経営課（☎934-2747）／市広報広聴課（☎934-2753）

## 年末年始の交通安全県民運動

一人ひとりが交通安全意識を持ち、交通マナーを守って交通事故を防止しましょう。

◇期間 12月10日(金)～1月3日(月)

◇重点目標 ①早朝、薄暮時の交通事故防止! ②交通事故防止!  
③シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底!

## 山口情報芸術センターの 台風被災調査について

市では、台風18号により被災した山口情報芸術センターについて、その原因の技術的検証を中立的な立場で実施するため、第三者機関の設置を検討してきましたが、この度、(財)日本建築総合試験所(大阪府吹田市)に委託して実施することとなりました。

この機関は、国土交通省、経済産業省共管の公益法人で、建築全般に関する試験、評価、開発研究等を行うことにより、建築物の質の向上、安全性の確保を図り、国民の生活の向上に貢献することを目的とした研究調査機関です。

去る11月8日(月)に、この研究機関によって運営される調査検討委員会の第1回目が、山口情報芸術センターにおいて開催されました。

◇委員会のメンバー(敬称略)

【委員長】

・松井千秋(九州大学名誉教授)

【委員】

・内田直樹(財・溶接研究所理事)

・大熊武司(神奈川大学工学部教授)

・河井宏允(京都大学防災研究所教授)

・三浦房紀(山口大学工学部教授)  
・川當正之(日本金属屋根協会技術委員長)  
・西村宏昭(日本建築総合試験所建築物耐風試験室長)

◇今後の予定

この度の委員会を含め、年度内に3回の委員会を開催することとしており、市、設計業者及び施工業者が収集した資料等に基づく建築構造や耐風構造などの専門的な検証を行うとともに、必要な調査、実験などを踏まえて結論を出すこととなります。

◇問い合わせ

市建築課建築担当(☎934-2842)



台風で被災した山口情報芸術センター



### 固定資産についての届出

Q 建物を取り壊したら届出は必要ですか?

A 必要です。届出がないと、建物の状況が把握できませんので、引き続き固定資産税が課税される場合があります。家屋の全部または一部を取り壊された場合には、市課税課家屋担当までご連絡をお願いします。

なお、法務局での滅失登記の手続きは別途必要となります。

また、住宅を取り壊されると土地の固定資産税額が上がる場合がありますので、事前にご相談くださることをお勧めします。

Q 未登記家屋の所有者が変わったら?

A 未登記家屋の場合、所有者の方からの申し出がないと所有者の変更が把握できません。市課税課家屋担当へ未登記家屋所有者変更申立書の提出をお願いします。

◇問い合わせ 市課税課家屋担当

(市役所1階 ☎934-2736) / 土地担当 (☎934-737)



### 公費負担医療の自己負担金払い戻し

Q 福祉医療受給者証の交付を受け、医療費の支払いは生じないと聞きましたが、医療機関窓口で公費負担医療(更生医療等)の自己負担金について支払いを求められました。この自己負担金は、払い戻しを受けられますか?

A 負担金は、後日、市に申請することにより払い戻しを受けることができます。福祉医療制度は、保険診療による医療費の自

己負担分について助成をする制度で、公費負担医療の自己負担金についても、助成の対象となります。しかし、公費負担医療については、福祉医療制度に優先して適用されるため、医療機関窓口でいったん負担金をお支払いいただくことになります。

◇申請に必要なもの 領収書(原本)、福祉医療受給者証、健康保険証、印鑑、公費負担医療受給者証、振込口座がわかるもの(郵便局不可)

◇申請・問い合わせ 市保険年金課医療助成担当(市役所1階 ☎934-2803)

# 足湯の 縁の下の 力持ち!

湯田温泉の人気スポット、足湯。地元の人や観光客など毎日多くの人々が利用し、人々の交流の場にもなっています。そんな足湯をきれいに保つため、各所の足湯で清掃に携わる人たちがいます。湯田温泉内に5カ所あるうちのひとつ、湯の街通りにある足湯の清掃をするのは、湯の街商店街のみなさん。「気持ちよく湯に浸かってもらいたい」と想いを込めて、毎朝自主的に集まって清掃しています。いつでも気持ちよく足湯に入れるのも、影で支える人たちがいるからこそ。これからは温泉で温まり、またたく間に季節。ぜひ、マナーを守って利用しましょうね。

気軽に入りに来て下さいね



365日、雨の日も寒い日も、毎朝かささず清掃します。

鑄銭司在住  
手話通訳士

vol.19

めざすまちスタイル  
びとちづくり

## 街角に身振り手振りの コミュニケーションが あふれるまち

# 綾城 明美さん

あやぎ あけみ



これまで35年間手話と関わり、手話の市民権を得るために活動してきた綾城明美さん。支援の必要なるうあ者のために、自分ができるところをやっていこうと始めたさまざまな活動が、大きな支援の輪を広げています。市内にわずか4名の国家資格・手話通訳士の一人。また、市内で一番古くからろうあ者の支援に携わってこられた綾城さんにお話をうかがいました。

現在高齢になったろうあ者の中には、未就学のため読み書きもままならないという人もいます。同じ障がいをもつ人たちと接することがなかつたらうあ者たちは、手話に接する機会も少なかったため、コミュニケーションの方法をほとんど持っていないんです。自分の意志さえ伝えることが難しいのです。

ところが手話や生活知識を学ぶにつれて、本当にみなさん楽しそうで、高齢にも関わらずどんどん覚えていくんです。交流しながら学べる、手話サークルやる

■何をきっかけに手話を始めたのですか？  
私が住んでいる鑄銭司には県立聾学校があり、家がすぐ近所なので、兄弟たちと一緒にしょっちゅう遊びに行っていました。ろうあ者との日常のコミュニケーションの中で、本当に自然に手話を学ぼうと思ったんです。手話はろうあ者にとっては母語も同然ですから、たくさんの方が使えるようになるといいですね。

■どのような活動をされていますか？  
高齢のろうあ者や重複障がいのある者とその家族が集まり、交流できるつどいの場を開催しています。

ろうあ者のつどいの存在さえ知らない人がいるのが現状ですが、社会に出るきっかけとしてぜひ参加してほしいですね。

■これからの目標を教えてください。  
ろうあ者の伝えたい気持ちに想いを傾け、受けとめ、そして自立に向けてサポートする人たちが必要です。それには家族の理解と協力が一番なんです。私たちでも充実した支援活動を行えるよう、今NPO法人の設立に向けて準備を進めており、高齢・重複障がいのあるあ者の支援を重点的に行いたいと思っています。日常的に支援が受けられるよう、市町村ごとに設備が整い、それらをつなぐネットワークができるといいですね。

### おしらせ

### 2004年メモリアル 街角写真館

2004年も、ついに最終月となりました。今年一年は、どんな年でしたか？  
やこねっとで撮りためた写真の中から、一年を振り返る四季の写真をご紹介します。



冬 各地でどんど焼きなどの新春恒例行事が行われました。



春 瑞光寺五重塔の桜は、多くの人々を魅了しました。



夏 山口セタちゃんまつり。ちょうちんに小さな灯がともります。

### つどいに参加しませんか？

高齢・重複障がいのあるあ者やその家族の集いを毎月1回開催する予定です。詳しくはお問い合わせください。  
綾城 tel/fax083-986-2619



高齢ろうあ者のつどい 11月13日 小郡町ふれあいセンターにて毎月1回、勉強会や情報交換、楽しいゲームで交流します。



秋 新しく生まれ変わった菜香亭がついにオープン。

家族でお参りした初詣や地域の餅つき大会など、季節の行事や地域のイベントのお写真をお寄せください。市報紙面上や、やこねっとWeb、またやこねっとマガジンなどで紹介させていただきます。

何かしたい、と思われている方にはまづろうあ者に接してほしいです。そして手話サークルなどでの交流を楽しんでほしいと思います。

### 市民まちづくり情報センター やこねっと

✉ yacopy@ycnet.jp  
☎ 090-7120-0847  
☎ 083-901-1165  
〒753-0047 道場門前1-2-19  
市民活動支援センター さほらんで内

山口のみんなが元気になる情報を お寄せください!!  
お問合せ・情報は お気軽にこちらまで!



詳しくはアクセスしてね!  
携帯版はこちら!!

http://www.ycnet.jp/  
http://www.ycnet.jp/i/

### 街角写真大募集!!



山口市リサイクルプラザ  
☎ 927-7122 ☎ 927-7133  
<http://www.c-able.ne.jp/~ymgplaza/>  
開館時間 午前9時から午後5時  
資源物の受け付け  
午前9時から午後4時30分  
月曜と祝日の翌日はお休みです

## 視察研修報告～紙製容器包装～

# 収集した後、どうなっているの？

やまぐちエコ倶楽部が毎年行っている視察研修。今年は、11月8日（月）に鹿児島県知覧町にある知覧リサイクルセンターを見学しました。ここに、収集された紙製容器包装が運ばれ、紙に再生されるものと代替燃料になるものに仕分けされています。山口市から運ばれた紙製容器包装は、どんな状況だったのでしょうか。

### 紙製容器包装を手選別

知覧リサイクルセンターでは、人の手によって、仕分けがされています。ルールを守って出された紙製容器包装は主に紙として再生されますが、例えば、取り出し口についているビニールがついたままのティッシュペーパーの箱などは、代替燃料になります。少しの間をかけるだけで、もう一度紙に再生することができるものが1度きりしか使えない燃料に変わってしまい、とてももったいないなと感じました。

### 山口市の分別状況は…

今回の視察研修では、実際に山口市で収集した紙製容器包装の分別行程を見学させていただきました。

ベルトコンベアで流れてくる紙製容器包装を、4人の作業員が目回るような早さで仕分けをしています。ダンボール、金属が付いたラップの箱、広報紙や牛乳パックなど紙製容器包装以外のものがたくさん目につきました。特に目立っていたのは封筒やファイルでした。自分の出した資源が鹿児島まで運ばれ、こうして人の



手で選別されているのを見ると、家庭での分別の大切さを改めて感じるとともに、せっかくな分別するならば、質のよいものになる状態で出さなければと感じました。

**分別方法を再確認！**

山口市の紙製容器包装の収集量は、分別収集を始めた頃と変わっていません。これは、資源になる紙を燃やせるごみに出したり、新聞や雑誌の中に入れてしまったという状況があるのではないのでしょうか。もう一度正しい分別方法を確認してみよう。

### ★紙製容器包装ってどんなもの？

→ 紙マークが付いているもの

(例) お菓子の紙箱、紙袋、内側にアルミが貼られている紙パック、ティッシュペーパーの箱（取り出し口のビニールを除く）



### ★間違いやすいもの

封筒、ファイル、トイレットペーパー・ラップの芯 } 燃やせるごみ  
ダンボール } それぞれの収集日に出す紙パック

実際に現場を見学し、正しく分別することでリサイクルは成り立っているのだと再認識しました。紙製容器包装を再び紙に生まれ変わらせるように、ルールを守ってしっかり分別に取り組みましょう。

(企画) やまぐちエコ倶楽部

## ■12月のリサイクルアイデア講座(午前10時～正午) 《いつでも参加できます。申し込みはいりません》

トールペインティング	1(水)15(水) <sup>(※1)</sup>	和服のリフォーム	7(火)14(火)
カントリドール	1(水) <sup>(※1)</sup> 2回目	モラで小物作り	7(火)
やさしいパッチワーク	1(水)11(土) <sup>(※2)</sup>	かんたん着付け(ウール)	8(水)12(日)
さき織り	2(木)9(木)16(木)	余り布で作るコサージュ	9(木)
ネクタイのリフォーム	2(木)16(木)	花炭作り	12(日) <sup>(※4)</sup>
ドライフラワーを使ったリース作り	2(木)	牛乳パック工作(ミニかご)	12(日)
かんたんリフォーム(ブラウス)	3(金)10(金)17(金)	しめ縄作り	23(木) <sup>(※1)</sup>
毛糸のリサイクル	3(金)17(金)		
布あそび	4(土)18(土)	(※1)午前9時30分～正午	
フラワーアレンジメント	4(土)18(土)	(※2)11(土)は午後1時～3時	
ウールの着物から作務衣作り	4(土) <sup>(※3)</sup> 4回目	(※3)午後1時～3時	
		(※4)午前9時30分～正午/雨天中止	

※持参品などの詳細は、市リサイクルプラザ、市役所、公民館にある「かわらばん」をご覧ください。

## ■12月のフリーマーケット

◇日時 12月12日(日)午前9時～午後3時(雨天中止)

※おもちゃの病院もあります(受付は午前10時～11時30分)

※1月、2月のフリーマーケットはお休みです。



## インフルエンザ予防接種実施医療機関追加のお知らせ

市報10月15日号掲載のインフルエンザ予防接種実施医療機関について、次の医療機関が追加になりました。

- たむら内科医院（大内長野805-5☎941-0167／予約不要）
- ひさし耳鼻咽喉科クリニック（幸町3-49-1☎934-2300／要予約）



お知らせ

山口市役所 〒753-8650 亀山町2-1

## 新潟県中越地震災害義援金の受付

### 【現金受付】

- ◇受付期限 12月27日（月）
- ◇受付場所 大殿・白石・湯田公民館、各出張所、市社会課、市役所1階受付、山口情報芸術センター（中園町7-7）

### 【振り込み（郵便局）】※振込手数料無料

- ◇受付期限 12月30日（木）
- ◇口座番号／名義 00530-2-2000 日本赤十字社新潟県支部（通信欄に「新潟地震」と明記してください）
- ◇問い合わせ 市社会課（市役所1階☎934-2790）

## 第48回中国四国学生駅伝競走大会

中国・四国地方の学生長距離ランナーが勢揃いし、32チームが健脚を競います。沿道での温かい声援をお願いします。

- ◇日時 12月5日（日）午前9時から
- ◇コース 6区間53・5キロメートル（市民会館→県道宮野大歳線→仁保下郷→リフレッシュパーク）
- ◇問い合わせ 準備委員会（山口大学 宮田さん ☎933-5866）

## 山口情報芸術センター 開館1周年記念シンポジウム 「21世紀の地域と文化」

「21世紀の地域と文化」というテーマのもと、講演会とパネルディスカッションを行い、センターに求められる役割や今後の可能性について議論を深め、「ともに成長していく施設」としての未来像を描き出します。

- 日時 12月19日（日）午後2時～4時45分
- 場所 山口情報芸術センタースタジオA（中園町7-7）
- 参加料 無料
- 申し込み・問い合わせ 市文化振興課（☎934-2718 FAX 934-2670）  
✉bunka@city.yamaguchi.yamaguchi.jp

### 基調講演 「21世紀の地域と文化」

#### ■講師

### 山崎正和氏

（東亜大学学長・劇作家）

1934年京都生まれ。京都大学文学部哲学科卒、大阪大学教授等を経て、現在に至る。著書に「山崎正和著作集」全12巻、「柔かい個人主義の誕生」（吉野作造賞）ほか。



### パネルディスカッション

## 「山口情報芸術センターの総括と展望」

#### ■パネリスト

- 荒瀬景敏氏（美術作家、山口情報芸術センター見直し市民委員会副会長）
- 富永欣也氏（映像作家、山口情報芸術センター市民委員会会長）
- 藤川 哲氏（山口大学人文学部講師、山口情報芸術センター企画運営会議委員）
- 合志 栄一（山口市長）
- コーディネーター 熊倉純子氏（東京芸術大学音楽学部音楽環境創造科助教授）

シンポジウム終了後（午後5時30分～7時）に交流会を開催します（会費1,000円）。どなたでもご参加いただけますのでお気軽にお越しください。

## BCG予防接種は お済みですか

（接種は平成17年3月までに）

結核予防法が改正され、乳幼児のBCG予防接種対象年齢が見直されることとなりました。これまでの対象年齢は「生後3カ月から4歳未満」でしたが、平成17年4月1日以降は「生後直後から生後6カ月未満」となります。これにより、これまでにBCG予防接種を受けていない子どもが、平成17年4月以降に接種を受ける場合、有料となることがあります。

## 海外たすけあい義援金 「あなたのやさしさを」

海外の恵まれない人々に援助の手をさしのべる「NHK海外たすけあい」を12月1日（水）から25日（土）の間実施します。寄せられた義援金は、世界で多

4歳未満の子ども（平成13年4月1日以降生まれ）の保護者の方は、予防接種歴をご確認の上、平成17年3月31日までに接種をお済ませください。

- ◇問い合わせ 市保健センター（☎921-2666）

発する自然災害や紛争等による犠牲者の緊急救援及び発展途上国の赤十字社が行う保健衛生、災害対策事業等の開発協力に役立てられます。

義援金の受付窓口は最寄りの郵便局、取扱表示のある金融機関、農協、漁協、NHK山口放送局（中央五丁目14-22）、日本赤十字社山口県支部・血液センター（野田172-5）、山口赤十字病院（八幡馬場53-1）です。みなさんのご協力をお願いします。

- ◇問い合わせ 日本赤十字社山口県支部（☎922-0102）

## 山口市ふれあいレク大会

- ◇日時 12月5日(日) 午前10時～午後3時 ◇場所 しらさぎ会館(堂の前1-5)
- ◇内容 講演「心と身体を育む音楽の利用法」、レクリエーション
- ◇申し込み・問い合わせ NPO法人ヒューマンスペースきらきら銀魚 大庭さん  
(大市町2-2 ☎934-3088)

# 平成16年度山口市表彰・秋の叙勲

## 山口市表彰

山口市表彰式が11月19日に市民会館で行われました。これは、市政の発展、公益の増進に顕著な功績があった方、団体を表彰するもので、今年度は、26人の方に市長から表彰状と感謝状が贈られました。( )内は年齢、住所、功績です(敬称略)。

### ■自治功労者

歳谷茂(86) 湯田温泉四丁目 市

### ■協力委員10年

木原久光(75) 大内御堀 市協力

### ■委員10年

岡田勝(74) 大内御堀 市議会

### ■議員16年

清水春治(63) 大内御堀 市議会

### ■議員16年

山本成男(70) 秋穂二島 市議会

### ■議員16年

俵田颯夫(61) 三の宮一丁目 市

### ■社会議員16年

齋藤智香子(67) 三の宮一丁目

### ■社会事業功労者

川本二三雄(70) 石観音町 民生

### ■委員児童委員15年

齋藤智香子(67) 三の宮一丁目

小田美代子(70) 中市町 民生委

員児童委員15年)

水上和代(66) 吉敷 民生委員児童委員15年)

内田都喜子(69) 吉敷 民生委員児童委員15年)

荒瀬美智子(67) 平井 民生委員児童委員15年)

光永満子(61) 平井 民生委員児童委員15年)

宮川安雄(83) 三の宮二丁目 大殿地区老人クラブ連合会会長16年)

秋山紀子(64) 宮野下 宮野自治会婦人部会長11年)

栗屋絹代(74) 水の上町 大殿地区婦人会会長13年)

松村桂子(67) 嘉川 母子保健推進員16年)

天舛晃三(70) 吉敷 良城小学校学校薬剤師26年)

稲光達士(55) 天花一丁目 大殿小学校学校歯科医25年)

田村勝博(65) 佐山 佐山小学校学校医25年)

正司和夫(65) 阿知須町 佐山小学校学校医25年)

末永好勝(86) 宮野下 山口交通安全協会宮野分会会長19年)

津田浩俊(76) 宮野下 市宮野財産区議会議員16年)

中原克子(61) 湯田温泉一丁目

三上重義(68) 東京都小平市

石小学校に絵画2点を寄付)

富永登美江(72) 駅通り二丁目

白石小学校に絵画を寄付)

津田浩俊(76) 宮野下 市宮野財産区議会議員16年)

中原克子(61) 湯田温泉一丁目

三上重義(68) 東京都小平市

石小学校に絵画2点を寄付)

富永登美江(72) 駅通り二丁目

白石小学校に絵画を寄付)

津田浩俊(76) 宮野下 市宮野財産区議会議員16年)

中原克子(61) 湯田温泉一丁目

三上重義(68) 東京都小平市

石小学校に絵画2点を寄付)

富永登美江(72) 駅通り二丁目

白石小学校に絵画を寄付)

津田浩俊(76) 宮野下 市宮野財産区議会議員16年)

中原克子(61) 湯田温泉一丁目

三上重義(68) 東京都小平市

石小学校に絵画2点を寄付)

富永登美江(72) 駅通り二丁目

白石小学校に絵画を寄付)

津田浩俊(76) 宮野下 市宮野財産区議会議員16年)

中原克子(61) 湯田温泉一丁目

三上重義(68) 東京都小平市

石小学校に絵画2点を寄付)

富永登美江(72) 駅通り二丁目

白石小学校に絵画を寄付)

津田浩俊(76) 宮野下 市宮野財産区議会議員16年)

中原克子(61) 湯田温泉一丁目

三上重義(68) 東京都小平市

石小学校に絵画2点を寄付)

富永登美江(72) 駅通り二丁目

白石小学校に絵画を寄付)

津田浩俊(76) 宮野下 市宮野財産区議会議員16年)

中原克子(61) 湯田温泉一丁目

三上重義(68) 東京都小平市

石小学校に絵画2点を寄付)

富永登美江(72) 駅通り二丁目

白石小学校に絵画を寄付)

津田浩俊(76) 宮野下 市宮野財産区議会議員16年)

中原克子(61) 湯田温泉一丁目

三上重義(68) 東京都小平市

石小学校に絵画2点を寄付)

富永登美江(72) 駅通り二丁目

白石小学校に絵画を寄付)

## 秋の叙勲

秋の叙勲を市内在住の5人の方が受章されました。( )内は功績、年齢、住所、主要経歴です。(敬称略)

### ■瑞宝中綬章

新中康弘(教育研究功勞 78 天

花二丁目 元山口大学理学部長)

中山英男(教育研究功勞 78 白

石二丁目 元山口女子大学家政学

部長)

### ■瑞宝小綬章

飯島章治(地方自治功勞 71 大

内御堀 元県議会議事務局長)

倉増静徳(地方自治功勞 71 白

石二丁目 元県地方労働委員会事

務局長)

### ■瑞宝単光章

荒瀬直通(消防功勞 74 平井

元市消防団分団長)

## 山口のんた情報 (山口ケーブルテレビ)

午前7時45分(水・土)、午後零時15分(火・金)、午後6時15分(月・木・日)、午後10時(水・土)から20分間放送。

- 1日～15日「まち=大学全国サミット」
- 16日～31日「第1回山口市立図書館まつり」

## やまぐちしま専科 (山口朝日放送)

毎週水曜日、午後1時55分から4分間放送。  
○1日「健康シリーズ 糖尿病予防教室②」

ご覧ください  
山口市の  
広報番組

12月の放送  
予定です

- 8日「ブックスタート体験会」
- 15日「お金について学ぼう」
- 22日「栗林和彦の大内文化探訪」

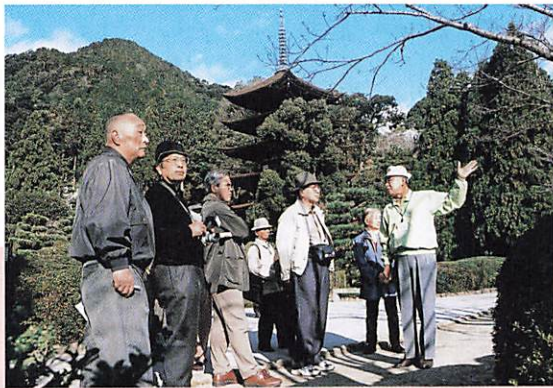
## わたしたちのまち山口 (テレビ山口)

- 毎週日曜日、午前11時40分から4分間放送。
- 5日「マナーを守ってきれいなまちに ~犬の飼い主のみなさんへ~」
  - 12日、19日、26日「始まりました ブックスタート体験会」



### 秋空の下で自然とふれあう1日

晴天に恵まれたこの日、創造の森で秋のイベントが行われました。竹林の歩道を整備した後、竹を使ってご飯をたき、竹細工をしました。汗を流した後に秋空の下で食べるご飯は、一層おいしく感じられたようです。(11月13日)



### 西の京やまぐちの魅力を再発見

「第5回西京歴史フォーラム」の2日目に開催された市内文化財バスツアー。市観光ボランティアガイドや市職員の説明を受けながら、大内氏館跡、瑠璃光寺五重塔、常栄寺雪舟庭をまわり、身近な文化財への理解を深めました。(11月21日)



### 愛らしい踊りで会場は笑顔に

創立35周年を迎えた山口文化協会による市民文化祭が、山口情報芸術センターで開催され、多くの来場者で賑わいました。写真はステージイベントで日舞を披露する子どもたち。みんなポーズが決まっていますね。(10月29日～31日)



### 思いをたすきでつないで

第55回山口市中学校駅伝大会が、セミナーパークで開催されました。選手は1本のたすきをつないでそれぞれ託された区間を精一杯駆け抜けました。結果は男女ともに湯田中学校Aの優勝でした。(11月14日)

このシンポは、順調にスタートし軌道に乗ってきているセンターが、将来に渡って安定的に運営されていくために、開館1年という節目に今一度、センターの運営の路線、進むべき方向について議論を深める必要があると考え、企画したものです。これまで様々な立場からセンターに関わってきた人たちをはじめ多くの市民のみなさんにご参加いただき、共通の理解、認識を持てるようなシンポになればと願っております。

山口情報芸術センターは、合併後も、新市が魅力あるまちであり続けるために、価値ある情報、文化を創造、発信する施設として大きな役割を果たすことが期待されております。私としては、1周年記念イベントは、そのためにも重要なプロセスであると考えています。多くの市民のみなさんご来場をお待ちしています。

さて、12月19日(日)には、開館1周年を記念して、東亜大学学長であり、著名な劇作家でもある山崎正和先生をお迎えし、「21世紀の地域と文化」をテーマに、基調講演、シンポジウム及び交流会を開催します。

市立図書館との複合文化施設であるということもよかつたと思われましますし、10月末の市民文化祭においては、センター全館が様々な市民の文化芸術の催しに開放され、センターが着実に市民のみなさんの中に根付いてきていることを感じています。

ほっと  
vol.8  
**市長**  
**コラム**  
山口情報芸術センター  
1周年イベントへの  
「12.19シンポへの  
ご案内」



昨年の11月1日、様々な市民的論議を経てオープンした山口情報芸術センター。連日多くの市民のみなさんに、市立図書館、演劇・ダンス公演等に足を運んでいただき、来館者ももうすぐ100万人を突破する見通しです。